

ESSAS における OMIX 活動の紹介

東京大学大気海洋研究所 安田 一郎 (報告者)

1. 要旨

2017年6月12~15日にノルウェーで開催された「Ecosystem Studies for Sub-Arctic and Arctic Seas (ESSAS)」Open Science Meeting (OSM) において基調講演を行い、国際共同研究をさらに進めた。

2. 研究の背景

ESSAS は、Future Earth に属する Integrated Marine Biogeochemistry and Ecosystem Research のリージョナルプログラムであり、亜寒帯から北極域周辺における海洋生態系やその持続性への気候変動の影響を明らかにすることを目的としている。

A03-5 班の代表である原田は日本からの科学運営委員会 (SSC) メンバーであり、本新学術領域研究は ESSAS エンドースプロジェクトとして登録されている。ESSAS では年に1度の Annual Science Meeting (ASM) を SSC 輩出国で開催し、海洋生態系研究に関係する最新の研究成果が報告される。また5年に1度の Open Science Meeting (OSM) は ASM を拡大した 1000 人規模の国際会議を開催する。2017 年度は OSM が開催される年であり、6月12~15日ノルウェーのトロムソで開催される。OMIX の成果を世界のコミュニティに知ってもらうために、OMIX のセッション “Advection and mixing and their ecosystem impacts”

http://www.imr.no/essas/international_conference_on_subarctic_and_arctic_science/en が設けられている。



